

Newsletterのバックナンバーはウェブにてご覧頂けます。

Volume 4, Issue 1, January 2013

今月の英語

- evacuate 【イヴァキューイト】
避難する
- devastating 【デヴァステイティング】
壊滅的な、衝撃的な、悲惨な
- personal belongings
身の回り品、所持品

まだ、記憶に新しいアメリカ東海岸沿いを襲ったスーパーハリケーンSandyでは、洪水の被害だけでなく、火災による被害も膨大なものでした。今回の天災のデータを入れると2012年の火災による被害統計も大きく影響されると思いますが、2010年の統計では、年間約36万件の火災、約3000名の死者、約1万3千人のけが人が出ているようです。また、被害総額が、約\$6.6millionと**一件あたりでも\$2万弱は被害が出ていることとなります。**家や所持品を失うことは誰も経験したくありませんが、実際に自宅で火事が起こったらどうすればよいのでしょうか？



参考: U.S. Fire Administration, "Trend in Overall Fire Death Rates (2000-2009)", "Fire Estimates"

火事が起こった場合の対応・防災

《非難するまで》 ※火事の規模が大きい場合

- ◆ドアを触ってみて、温かい・熱い場合は、開けずに違う逃げ道を探す。
- ◆自分の後ろのドアは閉める。
- ◆煙があるときは低姿勢をとって移動する。
- ◆外に出たら中には戻らない。
- ◆服に火がついていたら、地面で転がり火を消す。
- ◆やけどがある場合は、早く水で冷やし、治療を受ける。
- ◆建物から出て安全な場所に避難できたら消防車を呼ぶ。Call 9-1-1。



《保険申請》

- ①LGISに報告。Call 877-544-7462 (※直接保険会社に事故報告頂いてもOKです。)
- ②事故報告書と、被害品リストに詳細を記入。(購入時のレシートがある場合は併せて送付。)
※臨時生活中にかかった費用(ホテル、レストランなど)のレシートもとっておく。
- ③LGISが保険会社に報告し、クレーム担当者情報をお客様にご連絡。
- ④クレーム担当者からお客様に事故について確認の連絡が入る。
- ⑤保険会社が派遣する査定員がダメージ状況を確認。
- ⑥契約内容に基づき保険金が支払われる。



《防災》

- ◆自宅・アパート・コンドミニアムの避難口を把握しておく。
- ◆コンセントにたくさんコードを差し込まない。
- ◆電気コードを壁などに固定する場合はクギやホッチキスではなくテープを使う。
- ◆延長コードをカーペットの下に通さない。
- ◆ヘアドライヤーは使っていない時はコードを抜いておく。
- ◆ガスコンロの場合は、開いている窓の近くで調理しないようにする。
- ◆フライパンなどの取っ手部分は内側に向けておく。(左図参照)
- ◆ベーキングソーダ(重曹)が消火として役立つため近くにおいておく。



参考: howstuffworks.com, "Fire Safety Tips", UCPD, "What to do in case of fire"

米国運転免許証を取得された方はご連絡下さい!

弊社では国際免許証でも日本での運転年数を加味した自動車保険をご案内しております。ただし、ご契約から1年以内に米国免許証を取得されないと更新保険料が高騰する場合がございます。保険料の高騰を防ぐために、**ご契約後9ヶ月以内**には米国免許証をご取得頂き、弊社まで下記情報をご連絡下さいませ。

ご連絡下さい

- ①米国免許証番号 (DL#)
- ②発行日 (Issued Date)
- ③発行州

Loyalty Group Insurance Services, Inc. (LGIS)

3940 Olympic Blvd. Suite250 Erlanger, KY 41018
営業時間 月～金 8am-5pm EST (祝日除く)

お問い合わせ先

Phone: 877-LGISINC / 877-544-7462
Fax: 859-283-0138
E-mail: hoken@lgisinc.com
WWW.LGISINC.COM



只今アメリカ生活における情報提供に関するアンケートを実施中です。Emailで送付しますのでご協力お願い致します。



住宅火災の要因 ランキング



- 1. Cooking 料理中
- 2. Heating ヒーティング、ヒーター
- 3. Electrical Malfunction 電気回線の異常
- 4. Other Unintentional, Careless その他・不注意
- 5. Open Flame じか火、裸火
- 6. Intentional 意図的

圧倒的に料理中の火事が多いようです。外で焚き火をする方も多いと思いますので、いずれにせよ火の取り扱いには十分ご注意下さい!

参考: U.S. Fire Administration, "Leading Causes of Residential Building Fires"